

# 令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	文化財調査・保護					款 07	項 04	目 01	事業 005	整理番号	492
現担当課名	生涯学習推進課					係名 文化財係	連絡先	1667	昨年度 整理番号	502	
上位施策No・施策名	28	次世代への歴史・文化の継承					予算事業区分		既定事業		
事業開始	昭和57年度	実行計画事業	分野	08	施策	28	計画事業	01			主要事業（区政経営報告書掲載事業）
令和6年度 担当課名	生涯学習推進課					事業評価区分			一般		

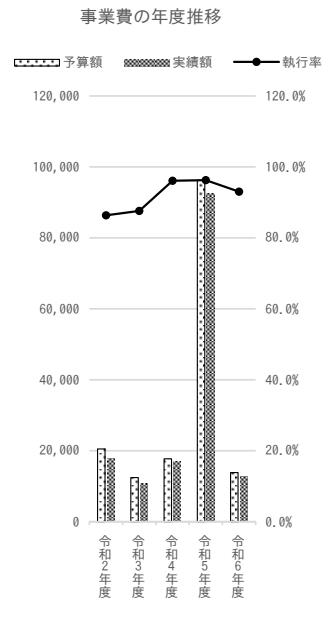
## 令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等
区内所在の文化財 区指定登録文化財の所有者・保持者等及び区民一般	文化財保護法 杉並区文化財保護条例
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○区内の文化財を保護する。 ○文化財所有者及び区民が文化財を理解し、これを保存・活用できるようにする。	○文化財調査を進め、必要と認めたものを登録文化財として重要なものを指定文化財として保存する。また、刊行物や案内標示板等を媒体として情報提供を進める。さらには区内団体などと協働し、文化財の公開・活用に努める。 ○埋蔵文化財の適切な保護・保存を図るため、埋蔵文化財調査を実施する。 ○国の史跡指定を受けた荻外荘に関する資料等の調査を実施する。

## 指標・総事業費 (P l a n · D o)

指標名		指標説明		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
活動指標	埋蔵文化財窓口照会件数	窓口で埋蔵文化財の包蔵地の照会を行った件数		件	計画	3,500	3,500	2,500	2,500
	杉並区文化財指定登録総件数				実績	2,846	2,250	2,420	-
	埋蔵文化財調査延べ日数				達成率	81.3%	64.3%	96.8%	-
成果指標	分類   社会成果（課題）指標	埋蔵文化財調査を行った延べ日数		日	計画	151	152	153	153
	杉並区文化財保護奨励金の交付件数				実績	151	152	152	-
	分類   行政サービス成果指標				達成率	100.0%	100.0%	99.3%	-

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	千円	予算額	20,500	12,435	17,719	96,207	13,845	21,165
		実績額	17,703	10,893	17,028	92,620	12,879	-
		執行率	86.4%	87.6%	96.1%	96.3%	93.0%	-
人件費	千円	予算額	21,934	21,914	21,647	24,954	25,113	25,668
		実績額	22,669	22,112	22,216	27,457	27,978	-
		執行率	103.4%	100.9%	102.6%	110.0%	111.4%	-
上記以外の職員	千円	予算額	15,400	18,140	18,375	18,390	19,035	27,858
		実績額	18,140	18,375	18,390	19,035	23,215	-
		執行率	117.8%	101.3%	100.1%	103.5%	122.0%	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	57,834	52,489	57,741	139,551	57,993	74,691
		実績額	58,512	51,380	57,634	139,112	64,072	-
		執行率	101.2%	97.9%	99.8%	99.7%	110.5%	-
財源	千円	受益者負担分 ①	0	0	0	0	0	0
		国・都からの補助金 ②	6,636	3,000	2,700	2,700	3,000	9,139
		その他の補助金等 ③	0	0	0	0	0	-
特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	6,636	3,000	2,700	2,700	3,000	9,139
		実績額	5,796	2,550	814	860	2,045	-
		執行率	87.3%	85.0%	30.1%	31.9%	68.2%	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	51,198	49,489	55,041	136,851	54,993	65,552
		実績額	52,716	48,830	56,820	138,252	62,027	-
		執行率	103.0%	98.7%	103.2%	101.0%	112.8%	-



## 特記事項

令和6年度の事業費は、令和5年度の文化財案内標示板及び文化財標柱139基の一斉建替えが終わり、減少しました。  
文化財指定においては、平成10年度に指定した「森泰樹氏旧蔵横倉家文書」への新たな資料の追加の指定を行ったため、活動指標の文化財指定登録総件数の増減はありませんでした。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	大礼服製作映像制作	1	件	1,628
	埋蔵文化財調査委託	2	件	2,695
	指定登録文化財保護奨励	112	件	1,740
	文化財案内標示板の修理等	9	基	564
	その他（文化財保護ボランティア活動、刊行物発行ほか）			6,252

取組成果	昭和戦前期に首相を務めた近衛文麿が着用した大礼服の複製品を製作する際、記録映像を作成し、同大礼服と共に荻外荘で公開しました。あわせて、荻外荘を紹介する冊子「TEKIGAISO」を刊行し、国史跡荻外荘（近衛文麿旧宅）の周知に努めたほか、荻外荘の公開にあわせて郷土博物館で特別展を実施するため、荻外荘関係資料の調査を公益財団法人陽明文庫と共同で5回実施しました。 また、杉並第二小学校の改築に伴う埋蔵文化財調査に関して、調査状況を紹介する動画を制作し、公開しました。 文化財指定では、平成10年度に指定した「森泰樹氏旧蔵横倉家文書」392点に、新たな資料45点を追加して指定し、名称を「横倉善次郎家文書」に変更しました。
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	建築工事等に伴い、埋蔵文化財の緊急発掘調査を行っています。出土した遺物は、文化財保護法及び遺失物法により保存する義務がありますが、保管場所の確保が課題となっています。 区内の文化財の保護・活用を推進するため、区の歴史的資料のデジタルアーカイブによる広範な情報発信が求められています。区指定・登録文化財の情報をデジタルアーカイブにより公開するだけでなく、その他の文化財や関連する情報についてもデータ化し、管理することが重要です。 刊行物の一般公開は、関係する著作権者からの許諾が課題となっています。
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	新たな文化財指定・登録を目指し、文化財保護審議会を運営しています。 国史跡荻外荘（近衛文麿旧宅）の復原整備工事報告書は、令和7年度中に刊行する予定です。 杉並名譽区民である谷川俊太郎氏の邸宅に残された蔵書や書簡等については、文化財保護ボランティアの協力により調査を進めています。 テジタルアーカイブの公開に向けて、文化財の3D画像製作や目録のデジタル化を進めています。 建築工事に伴い、埋蔵文化財調査を実施しています。調査成果は、区役所ロビーなどで展示しています。 令和7年度は現在のところ予算内で執行できる見込みです。
事業の方向性・改善策	指定・登録文化財の目録のデジタル化や、文化財の3D画像データの作成等を進め、図書館や郷土博物館と連携し、令和7年度中のデジタルアーカイブ公開に向けて進めています。 文化財調査を充実させ、区内の歴史を記録に残すため、寺社が保有する文化財の調査を継続的に行います。 谷川俊太郎氏の資料については、資料の活用方法や保管方法について、検討を進めます。

## 令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	拡充
I. 事業コストの方向性の理由	谷川俊太郎氏の関係資料調査を継続して実施します。同資料を活用して谷川氏の活動や功績を多くの方々に知つていただく機会を提供できるよう、既存施設の活用を検討します。また、資料を適切に保存し、後世に継承するにあたり、同資料の調査にかかる費用の拡充を図ります。 工事等に伴い出土する埋蔵文化財は、旧杉並中継所に暫定的に保管しています。埋蔵文化財の新たな収蔵庫にかかる経費や収蔵資料の移転費用の予算を拡充します。
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
II. 事業の改善の方向性の理由	建築工事等に伴う埋蔵文化財の届出書類は、東京都の指導により紙媒体で提出することとされていますが、令和8年4月からは電子申請システムの導入により電子データでの手続きが可能になります。埋蔵文化財包蔵地に関する問い合わせについては窓口や電話により対応していますが、電子地図サービス等の活用により、インターネット上で情報を公開できるよう、デジタル化を進めます。

# 令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	郷土博物館の運営管理						款 07	項 04	目 01	事業 011	整理番号	494
現担当課名	生涯学習推進課						係名	郷土博物館			連絡先	3317-0841
上位施策No・施策名	28	次世代への歴史・文化の継承						電話番号	昨年度 整理番号			504
事業開始	平成元年度	実行計画事業	分野	08	施策	28	計画事業	01	02	主要事業（区政経営報告書掲載事業）		
令和6年度 担当課名	生涯学習推進課						事業評価区分	既定事業				

## 令和6年度 事務事業の概要（P l a n）

対象	根拠法令等 博物館法 杉並区立郷土博物館条例
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）

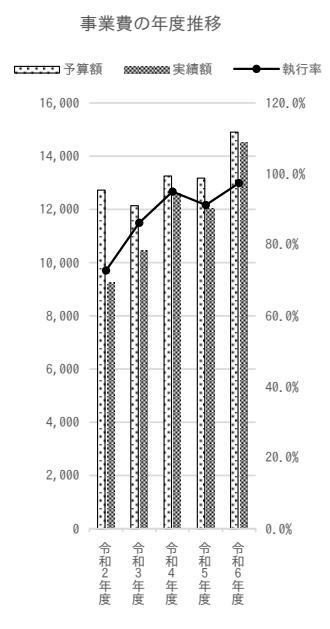
○歴史的・文化的資料の収集保存・調査研究等を行い、展示等の事業を通じて、広く杉並の歴史文化を紹介するとともに、区民の郷土に対する理解を高め、愛着心の向上を図る。

○資料の収集・保管、調査・研究、寄贈・寄託を行う。  
○展示、子ども博物館教室、講演会等各種行事を実施する。  
○学校教育等への支援・連携を行う。  
○研究紀要等を発行する。

## 指標・総事業費（P l a n · D o）

指標名		指標説明		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	企画展・講座・教室等事業実施回数	展示・講座・講演会・親子博物館教室・子ども博物館教室・年中行事・伝統芸能行事 実施回数	回	計画	50	40	40	40
	収蔵資料総数			実績	40	35	35	-
	達成率			達成率	80.0%	87.5%	87.5%	-
成果指標	郷土博物館の観覧者数	郷土博物館の来館者数及び出前型事業の来場者数	人	計画	147,500	147,800	149,500	149,600
	分類 行政サービス成果指標			実績	147,479	148,983	149,025	-
	来館者の満足度			達成率	100.0%	100.8%	99.7%	-
分類 利用者満足度指標	来館者へのアンケート結果（満足を3、普通を2、不満を1とした平均点）	点	点	計画	30,000	31,000	32,000	33,000
	分類 利用者満足度指標			実績	30,915	31,007	31,181	-
	分類 利用者満足度指標			達成率	103.1%	100.0%	97.4%	-

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	千円	予算額	12,724	12,140	13,255	13,175	14,904	17,943
		実績額	9,260	10,469	12,594	12,020	14,521	-
		執行率	72.8%	86.2%	95.0%	91.2%	97.4%	-
人件費	千円	予算額	30,930	26,822	25,029	24,954	35,359	35,888
		実績額	45,263	27,190	23,873	30,403	36,367	-
		執行率	146.3%	101.4%	95.4%	121.8%	102.9%	-
上記以外の職員	千円	予算額	27,720	32,652	36,750	36,780	38,070	51,073
		実績額	32,652	33,075	35,529	38,070	44,805	-
		執行率	117.8%	101.3%	96.7%	103.5%	117.7%	-
(事業費+人件費)	千円	予算額	71,374	71,614	75,034	74,909	88,333	104,904
		実績額	87,175	70,734	71,996	80,493	95,693	-
		執行率	122.1%	98.8%	96.0%	107.5%	108.3%	-
財源	千円	受益者負担分①	2,130	2,126	2,160	1,548	3,153	2,179
		国・都からの補助金②	0	0	0	0	0	1,657
		その他の補助金等③	0	0	0	0	0	-
特定財源	千円	予算額	2,130	2,126	2,160	1,548	3,153	3,836
		実績額	1,170	2,027	1,941	2,010	2,827	-
		執行率	54.9%	95.3%	89.9%	129.8%	89.7%	-
差引：一般財源	千円	予算額	69,244	69,488	72,874	73,361	85,180	101,068
		実績額	86,005	68,707	70,055	78,483	92,866	-
		執行率	124.2%	98.9%	96.1%	107.0%	109.0%	-



## 特記事項

前年度事業費から13%増えた理由は、「荻外荘」復原・整備完成記念展示を実施したことによるものです。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	特別展・企画展の開催	10	回	10,477
	郷土博物館運営協議会の開催	4	回	406
	博物館事業の運営管理等	2	所	3,638
	その他 ( )			0

取組成果	国史跡「荻外荘」の復原・整備完成を記念し、公益財団法人陽明文庫の全面協力を得て、「国指定史跡復原整備完成記念 特別展 陽明文庫名品展『荻外荘』」の日本画と香道具を開催しました。この特別展では、貴重な名品の中から、かつて「荻外荘」にあった近代日本画をはじめとして、香道具、年中行事絵巻、源氏物語関連資料などを展示し、広く杉並の歴史文化を紹介するとともに、区民の郷土に対する理解を高め、愛着心の向上につなげました。また、「荻外荘」関連展示として、「国指定史跡復原整備完成記念 企画展 近衛家と細川家 着物が結ぐ家族の記憶」(本館)や、「国指定史跡復原整備完成記念 企画展『荻外荘』と近衛文麿」(分館)を実施しました。そのほか、企画展・区民参加型展示・収蔵資料展を計7回行い、古文書講座や親子博物館教室、子ども博物館教室などを実施し、広く区民、児童・生徒の学びの場となるよう努めました。
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区内外に広くアピールできる魅力的な特別展・企画展を開催し、年間目標32,000人には届かなかつたものの多くの方々にご来場いただきました。今後は、展示の企画をさらに工夫し、年度内の観覧者数や平均観覧者数を過去の実績と比較しながら分析し、さらなる集客増を目指す必要があります。</li> <li>・博物館改正法で「博物館資料に係る電磁的記録を作成し、公開すること」と規定され、また、来館できない方にも広く杉並の歴史文化を紹介するため、デジタルアーカイブの検討を開始し、令和7年度末の公開を目指に取組を進める必要があります。</li> <li>・郷土博物館及び館外収蔵庫は、資料の増加等により飽和状態にあるため、引き続き解決策を模索していきます。なお、旧若杉小学校に保管している収蔵品は、令和8年度中の旧富士見丘小学校への移転を計画的に進めていますが、旧富士見丘小学校の使用は令和11年度の半ばまでの予定であり、その後の保管場所の検討を進めていきます。</li> <li>・区指定登録文化財の所有者交代に伴う資料の寄贈・寄託により、資料数は年々増加しています。このため、収蔵資料の点検や整理を進めるとともに、収蔵スペースの確保にも注力していきます。また、杉並しさを感じられる展示会の開催を通して、貴重な収蔵資料を広く公開し、杉並区の歴史文化の魅力を発信していきます。</li> </ul>
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	杉並の歴史や文化に触れる機会を提供し、区民が地元への理解を深め、愛着を育むことを目的に、企画展、準常設展、区民参加型展示、講座・教室など8月までに計13回の事業を開催しました。現在は、年度後半に実施予定の特別展や企画展、関連行事に向けて、着実に準備を進めています。また、来年度に計画している館外収蔵庫の移転に向け、旧若杉小収蔵庫および和田収蔵庫の資料整理を進めています。この過程では、重複している資料の廃棄についても検討を行っています。さらに、収蔵品管理システムの導入を並行して進めており台帳の整理を行いながらデータ登録を開始しました。現時点での予算執行率は約36%ですが、年度末までにはほぼ100%に達する見込みです。
事業の方向性・改善策	<p>観覧者数は、現時点では昨年度と同程度の水準となっていますが、9月の空調機の入れ替え作業に伴い、約1か月間の臨時休館を余儀なくされ、減少する見込みです。なお、この期間を活用し、館内収蔵庫の整理を進める予定です。また、11月の特別展では、堀ノ内にあつた「ティチク杉並吹込所」に関する資料を公開する予定です。さらに、区民が身近な場所で杉並の歴史や文化に触れられる機会を提供するため、井荻地域での出前型展示を実施する計画をしています。</p> <p>加えて、歴史や文化遺産を次世代に継承する取組の一環として、年度後半に収蔵品管理システムと杉並区デジタルアーカイブシステムを連携させ、古文書や写真などの資料を中心にデータを公開することを目指します。</p>

## 令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	拡充
I. 事業コストの方向性の理由	引き続き歴史的・文化的資料の収集保存・調査研究等を行い、広く杉並の歴史文化を展示を通じて紹介していきます。7年度デジタルアーカイブの仕組みを導入しますが、数年をかけて収蔵品整理を実施しつつ資料の電磁的記録を増やし、公開資料を充実させていきます(博物館法第三条)。また、8年度中に館外収蔵庫(旧若杉小収蔵庫)の移転を余儀なくされるため、移転準備と今後の移転先の確保及び更なる移転を考慮に入れながら廃棄を含めた効率的な資料管理を実施していきます。収蔵庫移転に係る費用と、デジタルアーカイブ拡充に係るコスト増が見込まれます。
II. 事業の改善の方向性	現状維持
II. 事業の改善の方向性の理由	館外収蔵庫の移転および資料のデジタルアーカイブ公開という2つの契機を活用し、資料の整理・管理を進めています。内部の収蔵品管理システムを整備したことで、今後数年から10年を目標に、資料の確認と整理を着実に進め、効率的な資料管理体制の構築を目指します。これにより、収蔵品を最大限に活用した企画展の開催が可能となるだけでなく、展示企画の作業効率の向上にもつながります。そして、これらの取り組みを通じて、より魅力的に歴史文化を紹介できる体制を整備していきます。